

# 4月のアルミスクラップレポートおよび5月の見通し

## 橋本金属×アルミ 橋本健一郎氏

### 予測レンジはLME現物後場買いで 1950-2100ドル

■概況:前半はフランス、イタリア、ポルトガル債の利回り上昇や3月の米雇用統計で雇用者数の大幅悪化並びに失業保険申請件数の上昇を嫌気。また中国1-3月期のGDPが+8.1%と予測の(+8.4%)を下回った事を嫌気、2037ドルと約60ドル下落での前半締めとなった。

後半は米小売売上高が+0.8%と予測より良かった事や米住宅許可件数もよかったこと。また中国HSBCのPMI指数が50以下だったもののそれに対する中国当局への金融緩和期待や米FOMCで追加的金融緩和について含みを持たせた事を好感し上昇。GW明けの5月7日現在 LME(現物後場)2030ドルと7ドル下落のスタートとなった。

■前月の経済指標:日本自動車工業会によると自動車生産台数は前月比+3.4%の98万4567台であった。日本自動車販売協会連合会によると自動車販売台数(軽除く)は前月比-58%の20万8977台(前年比+178.2%)。3カ月間の自動車生産計画は昨年対比+208.6%の247万3千台であった。また国土交通省によると、新設住宅着工戸数は前月比(季節調整済み)-7.6%(前年比+5%)の6万6928戸であった。

貿易指標を見てみると、財務省貿易統計

によれば、輸出はアルミ新地金が前月比+30.2%の194t、2次合金が+89%の1659t、スクラップが+37.4%の1万2860tであった。また輸入は、新地金が前月比-3.3%の11万9872t、2次合金が+4.6%の9万3728t、スクラップが+41.2%の1288t、合金スクラップは+23.2%の3822tであった。

■前月の国内指標:日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前月比+4.4%の17万2984t(昨年対比+3.4%)。日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム2次合金・同合金地金等生産実績は前月比+3.5%の6万9229t(昨年対比+6%)であった。

■見通し:自動車関連は堅調、さらに住宅が底入れ、軽圧品も堅調の月となった。自動車生産は前年比+244%の98万4567台と8カ月連続上昇。新年度後も堅調に推移。また国内自動車販売台数も49万7959台と前年比+192%と急上昇、また3-5月の自動車生産計画が+209%と自動車関連は絶対好調。ようやく自動車関連のアルミ2次合金生産も、前月比+4.7%の6万9229t。昨年対比+6%と6カ月ぶりに上昇、新年度入り以降の増産も開始か。

その他、住宅・家電需要が見込める圧延・押出品生産数は前月比+4.4%の17万2984t。昨年対比+3.4%と住宅着工の回復をうけ上昇の様相。その新設住宅着工数は季節

	1月	2月	3月
生産台数	83万7197台	95万2288台	98万4567台
前月比	-1.3%	+13.7%	+3.4%
昨年対比	+18.6%	+19.7%	+243.7%
	2月	3月	4月
販売台数	33万3213台	49万7959台	20万8977台
前月比	+26.6%	+49.4%	-58%
昨年対比	+31.9%	+178.2%	+192%
	3月	4月	5月
生産計画台数	96万3千台	77万6500台	73万3500台
前月比	+1.2%	-19.4%	-5.5%
	1月	2月	3月
新設住宅着工数	6万5984戸	6万6928戸	6万6597戸
季節調整 前月比	+5%	+11.6%	-7.6%
昨年対比	-11%	+7.5%	+5%

### 通常総会と表彰式を開催 日本銅センター

日本銅センター(家守伸正会長)は通常総会ならびに日本銅センター賞表彰式、記念パーティーを開催する。

日時:5月31日(木)

場所:コートヤード・マリオット銀座東武ホテル

TEL:03-3546-0111

通常総会:午後3時より

日本銅センター賞表彰式:午後3時45分より

(2階「芙蓉の間」)

記念パーティー:午後4時30分より

(3階「龍田の間」)

なお、出欠は同封のはがきにて5月17日(木)までに連絡とのこと。

調整前月比-7.6%の6万6957戸。前年比は+5%とようやく2カ月連続回復の兆し5月以降の復興需要に期待。

輸入塊は上海シグマが3月末現在で2330ドル(-70)、ロシア塊は2150ドル(-30)とそれぞれだが港値にすれば、203円、187円と185円前後の国内ものに比べて割高。

輸入は新地金が前月比-3%の11万9872t、自動車関連の2次合金は+4.6%の9万3728t、スクラップは+41.2%の1288t、合金スクラップは+23.3%の3822t。輸出は新地金が前月比+30%の194t、2次合金が+89%の1659t、スクラップが+37%の12860tとなった。

アルミ原料需要に関してようやく震災の処理も進み新設住宅着工数は+5.6%(前年比)で2カ月連続回復の兆し。また最大の需要家である自動車メーカーの自動車生産・販売共、+244%と+192%と好調維持。ようやく2次合金生産も+6%(前年比)と回復が進み、輸入塊の高止まりを受け、供給不足が考えられ今後はこちらも生産が急増するのとの予測。前月に続き2次合金メーカーも自動車生産の増産と輸入塊の高止まり(D12で196円)をうけて、かなりのオーダーを受けてる模様(国内塊180円前後)で今後積極的な購入が期待される。

LME価格については仏大統領選挙でのサルコジ氏の敗北やギリシャ議会での連立

与党の敗北から欧州問題全体に不安の空気が流れこんでいる模様で商品うんぬんではなくファンダメンタルズ全体が急速に悪化する可能性もあり前月から大幅悪化の1,950-2,100ドルを予測。スクラップ価格については4月後半価格から-5から10円下落を予測。

**ISO9001:2008**

認証取得(2010年1月29日)

---

**磁石屑 ◆ 高価買取 ◆**

●ネオジウム ●サマリウム  
●アルニコ5  
粉状・研磨粉もご一帳下さい

---

**レアメタルリサイクル全般**

**レアアース全般販売**

---

新日鐵生産ステンレス・日新製鋼他 大阪商工会議所 会員 大阪府工業団地会 会員

**富士興産株式会社**

本社 〒556-0023 大阪市浪速区船場1-9-28 電話 〒551-0002  
TEL.06-6567-3950 FAX.06-6567-3916 IP.050-6507-4578  
大阪市人正区三軒家東3-7-14 TEL.06-6552-1155 FAX.06-6552-1414 IP.050-6525-7707

関連会社 大阪金属株式会社 大阪市浪速区

http://www.fujikosan.jp E-mail:aat61140@par.odn.ne.jp

輸出品	1月	2月	3月	輸入	1月	2月	3月
新地金	48 t	149 t	194 t	新地金	14万 5073 t	12万 4015 t	11万 9872 t
前月比	-61.9%	+210.4%	+30.2%	前月比	-1%	-14.5%	-3.3%
2次合金	728 t	878 t	1659 t	2次合金	10万 0645 t	8万 9575 t	9万 3728 t
前月比	-12%	+20.6%	+89%	前月比	+7.4%	-17.6%	+4.6%
スクラップ	5716 t	9382 t	12860 t	スクラップ	617 t	912 t	1288 t
前月比	-41%	+63.8%	+37.4%	前月比	-19.6%	+47.8%	+41.2%
				合金スクラップ	5827 t	3084 t	3822 t
				前月比	+20.3%	-47.1%	+23.2%

